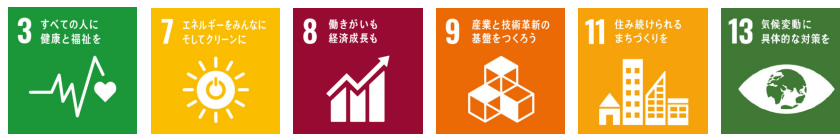


もっとこの先、地域とともに。


 2021年1月27日
 株式会社 愛知銀行

株式会社ダイワテックへの 「JCRサステナビリティボンド評価書」授与式の開催について

株式会社愛知銀行（頭取 伊藤 行記）は、株式会社日本格付研究所（JCR）とともに、株式会社ダイワテック（本社 名古屋市西区、代表取締役 岡 忠志）が2020年12月25日に発行した銀行保証付私募債に対する「サステナビリティボンド^(※) 評価書」の授与式を開催しましたのでお知らせいたします。

当行はこれからも、お客さまの多様化する資金調達ニーズに応え、SDGsの趣旨に賛同するお客さまとともに、持続可能な社会づくりを目指してまいります。

記

1. 銀行保証付私募債の概要

発行銘柄	株式会社ダイワテック 第30回無担保社債（愛知銀行保証付および適格機関投資家限定）【サステナビリティボンド】
発行金額	50百万円
償還年限	5年
発行日	2020年12月25日
資金使途	ソーラーシステムハウス建設に係る支出に充当
総額引受人	愛知銀行
外部レビュー機関	株式会社日本格付研究所（JCR）
サステナビリティボンド評価	SU 1（最上位評価）

JCRによるサステナビリティボンド評価において、私募債の資金使途である「ソーラーシステムハウスの製造」が、自然エネルギー・災害復興等への投資による環境改善効果、社会的な便益を有するプロジェクトであると評価され、最上位評価である「SU 1」を取得しております。

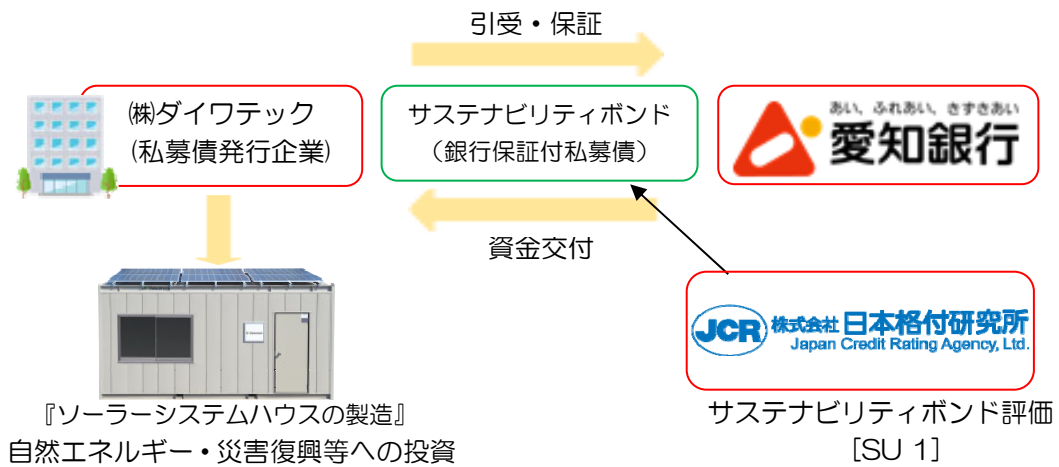
なお、銀行保証付私募債でのサステナビリティボンドの引受は、JCRによるレビューでは日本国内で初めてです。

2. 授与式の模様



(写真左より 当行 伊藤頭取 株式会社ダイワテック 岡社長 JCR 鴨井部長)

3. 本私募債によるサステナビリティボンド引受スキーム



(※) サステナビリティボンド

サステナビリティボンドとは、調達資金の用途を環境改善効果のあるグリーンプロジェクトおよび社会的課題の解決に資するソーシャルプロジェクト双方への融資または再融資に限定して発行する債券で、国際資本市場協会（ICMA）の「サステナビリティボンドガイドライン 2018 年版」に則って発行されるものです。

以上